

しが旅のススメ



テーマは「甲賀の城と水利―土地に刻まれた戦国の記憶―」。スポットを当て



コードが24日、甲賀市あ

この貴重な歴史遺産に新たな光を当てる「甲賀市城郭歴史フォーラム」

甲賀市は、全国でも類を見ないほど城跡が密集する中世城郭の聖地です。市内で確認されている城跡は実に180カ所以上。その多くが石垣を持たない、戦国時代さながらの風貌を残す土造りの城です。かつて、この地を治めた地侍たちの知恵と武勇を今に伝えています。

■ 24日 甲賀市城郭歴史フォーラム 水利にみる 戦国の土の城

甲賀の城と水利
―土地に刻まれた戦国の記憶―

山本氏の城と水利から、
柏木地域の社会形成と歴史の
変遷を探ります

令和8年 1月24日(土) 13:00~16:30
＜開催会場＞ 甲賀市あいこうか市民ホール

参加無料
申込不要

基調講演では、神奈川県立歴史博物館の渡辺浩貴氏を招聘。「柏木御厨・山中氏城館の水利秩序」と題し、生活や農業に欠かせない水の管理がいかに城郭や地域支配と結びついていたかを解き明かします。

会場に隣接する「水口歴史民俗資料館」では、21日から3月8日まで企画展も開催。フォーラムと併せて足を運べば、土地に刻まれた戦国武士たちの情熱をより多角的に体感できるでしょう。

水口町柏木地域を支配した有力一族で、甲賀忍者としても知られる山中氏。城郭といえば防御機能に目が向きがちですが、フォーラムでは「水」という独自の切り口から、地域社会の形成や歴史の変遷を深く考察します。

後半のパネル討論では、城郭研究の第一人者として知られる滋賀県立大名普教授の中井均氏がコーディネーターを務めます。甲賀市教委の伊藤航貴氏による最新の発掘調査報告も行われ、文献と現場の両面から甲賀の城の神髄に迫ります。

①甲賀市城郭歴史フォーラムのちらし
②水口町柏木付近の空中写真＝甲賀市内で



戦国ファン、城歩き愛好家ならずとも見逃せない、知的好奇心を刺激するひととき。中世の景観が色濃く残る甲賀の地で、悠久の歴史に思いをはせてみませんか。

（甲賀市観光まちづくり協会・福島嵩仁）

【アクセス情報など】甲賀市あいこうか市民ホールは、近江鉄道「水口城南」から徒歩約2分。新名神高速道路の甲賀土山インターチェンジ（IC）から車で約20分、甲南ICから約15分。約130台分の駐車場あり。フォーラムは24日午後1〜4時半。申し込み不要、参加無料。



これまでの「しが旅のススメ」はこちら